

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語	4	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい国語3』(東京書籍)	『常用漢字ダブルクリア』(尚文出版), 『練成テキスト中3国語』(育伸社), 『まんがで理解 楽しい文法』(とうほう), 『二訂版 カラー 小倉百人一首』(京都書房)

1. 学習の目標

文章を速く正確に、精密に読む訓練をする。また語彙を拡充し、表現の幅を広げる。さらに古典読解のための知識(古文単語・漢文訓点・文法)を広げ、言葉に対する感受性を養い、伝統文化への理解を促進する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。	国語の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けようとしている。	国語への関心が高く、自らの学習状況を把握し、自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	実力問題	過去問題の演習をして実力問題に慣れようとしている。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 行動観察
		生命は	詩の意味や効果的な表現を捉え、工夫して音読している。	
	5	レモン哀歌	表現の特徴を捉え、素材と表現について学んでいる。	
		絶滅の意味	人間社会との関係について自分の考えを持つようとしている。	
	6	おくのほそ道	冒頭文を学び、作者の思いを捉え、古人の考え方を学んでいる。	
		文語文法	文語文法について学んでいる。	
	7	練成テキスト	問題演習を通して総合力を磨いている。	
2	9	恩返し井戸を掘る	日常的な文章を読み、国際理解を深めようとしている。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 行動観察
		幸福について	文章を読み、議論をして自分の考えを持つようとしている。	
		練成テキスト	漢文の問題に取り組み、正しい書き下し文にできている。	
	10	言葉の移り変わり	言葉の変化について理解している。	
		文法のまとめ	文法的な性質の異なる語の見分け方を学んでいる。	

3	11	百科事典少女	場面や登場人物の設定を捉え、作品を読み味わっている。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 行動観察
		紛らわしい漢字	形や音の似た、紛らわしい漢字について学んでいる。	
		錬成テキスト	問題演習を通して総合力を磨いている。	
	12	百人一首	和歌の解釈をしながら、百人一首の復習をしている。	
	1	百人一首	百人一首大会に向けて実践練習をしている。	
		いつものように新聞が届いた	災害時における情報の価値やメディアの役割を考えている。	
	2	話し合いで問題を解決しよう	問題解決に向けて互いの考えを生かし合っている。	
		間違えやすい言葉	間違えやすい言葉に注意し、正しい知識を身につけている。	
		今の思いをまとめよう	正しい言葉遣いなど、総合的な表現力の拡充ができています。	
			錬成テキスト	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
社会	社会	4	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい社会 歴史』(東京書籍) 『新しい社会 公民』(東京書籍)	『よみとき総合歴史 神奈川県版』(浜島書店), 『最新 公民資料』(浜島書店), 『中学実力練成テキスト 社会歴史』(文理), 『中学実力練成テキスト 社会 全』(文理)

1. 学習の目標

現代の社会的現象に対して関心を深め、様々な資料を多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を養い、公民的資質を修得する。国際社会に生きる現代人として社会の諸問題に着目し、人類の福祉の向上のための方策を自ら考えることができるようになる。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
1つの社会的事象に関する基礎的な内容の理解や、意義の理解、その歴史的背景など、多面的・多角的に理解し、知識を身に付けている。また、提供された資料を適切に選択し、活用するとともに、それらを追求し、考察した過程や結果を適切に表現する。	社会的事象から課題を見出し、その意義や特色、他の事象との相互の関連性を考え、健全で公正な判断力を持ち、自らの生き方についても考えることができるようになり、必要な場面で自分の考えを表現出来るようになる。	社会的事象に対する関心を高め、意欲的に追及し、よりよい社会実現を考察し、公民としての自覚と責任を持つとする。課題に対して自発的に学習に取り組み、自分の考えを組み立てる態度を追求できるようになる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第6章 二度の世界大戦と日本 2節 世界恐慌と日本の中国侵略 3節 第二次世界大戦と日本 第7章 現代の日本と世界	[歴史的分野の継続] 世界恐慌による世界全体の保守政策が、世界を持てる国のブロック経済と持たざる国のファシズムに分かれたことを考察し、保守政策とナショナリズムの危険性を理解する。 日本の植民地拡張政策が世界の国々との関係を悪化させたことを考え、戦争の対価の甚大さを学ぶ。 敗戦後の日本を、民主化政策や憲法制定を中心に理解し、世界の中の日本の立場を考える。	授業への取り組み 提出物・小テスト 定期試験の成績 出席状況・行動観察 ポートフォリオの入り
	5	1節 戦後日本の発展と国際社会 2節 新たな時代の日本と世界	東西対立など揺れ動く国際情勢についての理解を深める。 高度経済成長期以降の日本の歩みを理解し、21世紀の日本と世界について考える。	
	6	第1章 わたしたちの生活と現代社会 1節 現代社会とわたしたちの生活 2節 わたしたちの生活と文化 3節 現代社会の見方や考え方 第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 2節 人権と共生社会 3節 これからの人	[公民的分野の開始] 様々な資料から、現代日本の特色や、現代社会における文化の意義について読み取り、現代社会をとらえる力を育てる。 現代日本の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化などが見られ、それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていること、又現代社会における文化の意義や影響について理解する。 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることを、具体的な社会生活と関連付けて理解する。 個人の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に、具体的な学習活動などを通して意欲的に追究するとともに、法の意義を理解する。 日本国憲法の基本原理(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)を、社会の形成者としての立場から、具体的な生活と	

2	7	権保障 第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治	のかかわりを通じて理解し、個人の尊厳と両性の本質的平等、自由・権利と責任・義務の関係が社会生活の基本となっていることに気付く。 現代社会の様々な人権課題の解決や、共生社会の実現に向けての取り組みに、社会の形成者として積極的にかかわろうとする態度を理解する。	授業への取り組み 提出物・小テスト 定期試験の成績 出席状況・行動観察 ポートフォリオの入力	
		2節 国の政治の仕組み 3節 地方自治と私たち	身近で具体的な事例を通して政治に関心を持たせ、主権者として積極的に政治にかかわろうとする意欲と態度を学ぶ。 議会制民主主義や住民自治の意義などについて考える。また、選挙をはじめとする国民の政治参加によって、よりよい民主政治が運営されていくことに気付き、良識ある主権者としての政治参加のあり方について考える。  新聞記事や統計資料などを活用し、現実の政治の動きを多面的・多角的にとらえる。		
		第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と経済 2節 生産と労働 3節 価格の働きと金融	経済活動が、人間生活の維持・向上のために欠かすことのできないものであることを、身近な消費生活を通して理解する。 無限で多様な人々の欲求に対し、社会の資源は有限であり、その資源からどの財やサービスを生産するかを価格を考慮して選択するという、市場経済の基本的な考えを理解し、現代の生産や金融の仕組みや働き、企業の役割と責任について考える。		
	9	4節 政府の役割と国民の福祉 5節 これからの経済と社会	国民の生活と福祉の向上を図るために、市場の働きにゆだねることが難しい諸課題の解決において、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割に気付かせるとともに、財源の確保と配分という観点から財政のあり方について考える。		
		11	第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題		国際社会が抱える諸課題について関心を高め、様々な資料を適切に収集・選択して多面的・多角的に考察するとともに、その解決のための国際的な努力について理解する。 事実を正確にとらえ、公正に判断し、適切に表現できる能力と態度を理解する。
	3	12	3節 これからの地球社会と日本		国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識する。 国際社会における日本の役割やあり方について考える。
		1	終章 よりよい社会をめざして		持続可能な社会を形成するために、自分たちに何ができるかを考える事を通し、社会参画するための手がかりを得る。 持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を探究することを通して、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を身に付ける。
		2	中学3年間の総復習・問題演習		問題演習を通じて、中学3年間で学習した地理的分野、歴史的分野及び公民的分野の総復習をし、特進選抜試験に向けての準備とする。
		3	総括		中学3年間の全復習を通じ、知識の整理と系統立てを完成させ、高校進学への準備とする。 自分たちが生きる現代社会を概観し、学ぶことで、公民的分野への関心を高め、これ以降の学習につなげる。 地理的分野、歴史的分野との関連を図るとともに、様々な条件や要因からとらえるなど、多面的・多角的に考える。

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学	6	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『未来へひろがる数学3』(啓林館)	『体系数学2 幾何編』(数研出版) 『体系問題集数学2 幾何編』(数研出版) 『高校受験対策 実践トライアル6+6』(育伸社)

### 1. 学習の目標

数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する。

### 2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理している。	数量や図形などの性質を見だし論理的・発展的に考察する力を養い、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現している。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養い、自ら問題解決の過程を振り返って評価・改善している。

### 3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	体系数学幾何編2 第1章 図形と相似	1. 相似な図形 2. 三角形の相似条件 3. 平行線と線分の比 4. 中点連結定理 5. 相似な図形の面積比, 体積比	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	第2章 線分の比と計量	1. 三角形の重心 2. 線分の比と面積比 3. チェバの定理 4. メネラウスの定理	
	6	第3章 円	1. 外心と垂心 2. 円周角 3. 円に内接する四角形 4. 円の接線と弦のつくる角 5. 方べきの定理 6. 2つの円	
	7		※第2, 3章は, 高校数学Aの内容も含む。 ※6単位のうち2単位を習熟度別演習とし, 基礎的な内容から高校入試レベルの内容を扱う。	
2	9	体系数学幾何編2 第4章 三平方の定理	1. 三平方の定理 2. 三平方の定理と平面図形 3. 三平方の定理と空間図形	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	数学I (数研出版) 第4章 図形と計量	1. 三角比 ①三角比 ②三角比の相互関係	

3	11	数学 I (数研出版) 第 1 章 数と式	③三角比の拡張	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	12		2. 三角形への応用 ①正弦定理 ②余弦定理 ③正弦定理と余弦定理の応用	
	1		※6 単位のうち 2 単位を習熟度別演習とし、基礎的な内容から高校入試レベルの内容を扱う。 1. 式の計算 ①整式 ②整式の加法と減法および乗法 ③因数分解	
	2		2. 実数 ①実数 ②根号を含む式の計算	
	3		※6 単位のうち 2 単位を習熟度別演習とし、基礎的な内容から高校入試レベルの内容を扱う。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科 (物理・地学)	2.5	中3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『未来へひろがるサイエンス3』(啓林館)	『中学実力練成テキスト』

1. 学習の目標

様々な現象に疑問を持ち、実験から原理を学び、論理的に現象を理解できるようにする。さらに、授業での知識を問題演習により整理し定着する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
基礎的な知識を身に着けている。さらに、表・グラフの整理、数値を用いた問題を解けている。	物理的な思考を身に付け、現象を論理的に説明できる。	授業に積極的に取り組んでいる。提出物を提出している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	運動とエネルギー	1章「力の合成と分解」 水圧, 浮力 力の合成, 分解	定期試験 提出物 授業への取り組み 小テスト
	5		2章「物体の運動」 運動の表し方 水平面での物体の運動 斜面上の物体の運動 物体間での力の及ぼし合い	
	6 7		3章「仕事とエネルギー」 仕事, エネルギー 位置エネルギーと運動エネルギー	
			4章「多様なエネルギーとその移り替わり」 エネルギーの種類 エネルギーの変換と保存 熱の移動	
			5章「エネルギー資源とその利用」 生活を支えるエネルギー エネルギー利用上の課題 エネルギーの有効利用	
			2	
2章「太陽と恒星の動き」 太陽の動き 星座の星の動き				
3章「月と金星の動きと見え方」 月の動きと見え方 金星の動きと見え方				
10				
11 12				

3	1 2 3	特進選抜試験対策	プリント演習 小テスト	定期試験 提出物 授業への取り組み 小テスト
---	-------------	----------	----------------	---------------------------------

※ 上記の内容は，進度によって変更される場合があります。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科 (化学・生物)	2.5	中学3年 全クラス

使用教科書	副教材
『未来へ広がるサイエンス』 (啓林館)	『中学実力練成テキスト 理科学(新訂版)』 (教育開発出版), 『最新理科便覧』 (浜島書店)

### 1. 学習の目標

化学的な事柄・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を習得する。さらに、生物的事柄・現象についての観察・実験などを行い、動物の生活やからだのつくりの多様性と共通性を理解し、動物を探究する能力と態度を育てるとともに動物に対する興味・関心を高めることにより、動物に対する愛情を深め、生命を尊重する態度を育てる。

### 2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
授業、観察、実験などを通して科学的な事柄・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。さらに、科学的な事柄・現象に関する観察・実験の技能を習得し、科学的に探究する方法を身に付けている。	科学的な事柄・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行い、事象を実証的・論理的に考察することにより問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断している。さらに、過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現している。	授業、観察、実験などを通して科学的な事柄・現象に関心や探究心をもち自主的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

### 3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	生物の成長 生物のふえ方と遺伝	生物の細胞の成長と分裂の仕組みを学習する。 植物の増え方を細胞の視点から学習する。 動物の増え方を細胞の視点から学習する。 細胞の染色体の仕組みから分裂と遺伝について学習する。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	5	自然と人間 自然界のつり合い	生物どうしのつながりを食物連鎖の視点から学習する。 自然界の炭素や酸素の移動を学習する。 自然界のつり合いはどうか保たれているのか学習する。	
	6	人間と環境	身近な自然環境を調査、学習する。	
	7	自然と人間のかかわり	自然と人間との関わりについて学習する。	
2	9	化学変化とイオン	水溶液に電気が流れる仕組みをイオン・原子を学習する。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	10	水溶液とイオン	化学変化によりどのように物質を取り出すのか酸化・還元を例にして学習する。	
	11	酸・アルカリと塩	化学変化により電気を取り出す仕組みについて学習する。	
	12	1年次の総復習	特進選抜試験に向け、1年次に学習した生物・化学分野を実験、演習を行い理解を深める。	
3	1	2年次の総復習	特進選抜試験に向け、2年次に学習した生物・化学分野を実験、演習を行い理解を深める。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	2	中学理科の総復習	特進選抜試験に向け、3年間の生物・化学分野の高校入試を踏まえた演習を行い理解を深める。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
音楽	音楽	1	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『中学生の音楽 2・3下』(教育芸術社) 『中学生の器楽』(教育芸術社)	なし

1. 学習の目標

音楽の基礎的なことを学習すると共に、歌唱や器楽等の楽しさを学習する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
音楽に対して関心を持ち、実践的に発表できる力をつけている。	音楽の要素を知覚し、音楽の良さや美しさを表現している。	個性を伸ばしながら工夫をして、興味を持ちながら取り組んでいる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	歌唱	「花」について学習する。 歌詞を理解し、暗譜して歌えるようにする。	期末試験 提出物 実技試験 授業への取り組み
	5	音楽鑑賞	交響詩「モルダウ」の鑑賞を行う。	
	6	音楽史	各時代の作曲家について学習する。	
2	7	実技試験	「花」の歌唱試験を行う。	期末試験 提出物 実技試験 授業への取り組み
	9	楽典 ソルフェージュ	音符や音楽記号、調について学習する。 音の聞き取り練習を行う。	
	10	リコーダー 合唱練習	アルトリコーダーの練習を行う。 合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。	
	11	ミュージカル 合唱練習	ミュージカルについて学習する。 合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。	
3	12	実技試験	アルトリコーダーの実技試験を行う。	学年末試験 提出物 実技試験 授業への取り組み
	1	合唱練習	合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。	
	2	合唱練習 音楽鑑賞 実技試験	合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。 「展覧会の絵」の鑑賞を行う。 課題曲の実技試験を行う。	
	3	復習	1年間のまとめをおこなう。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
芸術	美術	1	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『美術2・3』 (光村図書)	なし

### 1. 学習の目標

主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を高めるようにする。対象を深く見詰め感じ取る力や想像力を一層高め、独創的総合的な考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てるようにする。

### 2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

### 3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法		
1	4	絵画・素描 点描で人物を描く	点描技法を用いて人物画を描く。対象を点描で描くことで素描の表現技法の技能向上をめざす。	授業への取り組み 提出物 出席状況 期末試験		
	5					
	6	鑑賞	点描を用いた作品の鑑賞			
	7					
	2	9	デザイン・工作 パッケージをデザインする		自分で考えた商品を包むパッケージのデザインを考え、実際に厚紙を用いて制作を行う。手に取ってもらいたい相手のことや、どんなパッケージなら目を引きやすいかを考えながらデザインをする。	授業への取り組み 提出物 出席状況 期末試験
		10				
		11				
12		鑑賞	ポスター作品の鑑賞			
3	1	デザイン ピクトグラムを作る	ひと目でみて理解できる絵文字をデザインする。伝えたい内容を、簡潔に相手に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや親しみやすさを考え、表現の構想を練る。	授業への取り組み 提出物 出席状況 学年末試験		
	2					
	3					

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合があります。

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	保健体育	3	中3学年・全クラス

使用教科書	副教材
『保健体育』 (大修館書店)	『健康手帳』 (神奈川県学校保健連合会)

1. 学習の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を次のとおり育成することを目指す。また、各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けつつ、運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養いながら、生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付ける。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるように運動、体力の必要性について理解している。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的でよりよい解決に向けて、学習したことを基に、思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に表現する力を身に付けている。	生涯を通じた心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付ける。また、運動における競争や協働の経験を通して、公正・協力・役割を果たす・一人一人の違いを認めるなどの意欲を持ち、健康・安全に留意し自己の最善を尽くして運動に取り組んでいる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	○体づくり運動 集団行動	整列、行進、方向転換、列の増減、人員点呼、ラジオ体操	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験 期末試験
	5	新体力テスト	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、持久走、50m走、ハンドボール投げ	
	6	○球技Ⅰ (選択制) ソフトボール	キャッチボール、打撃、守備、送球、投球、捕球、試合	
	7	バレーボール 卓球	パス、レシーブ、サービス、スパイク、試合 ストローク、サービス、スマッシュ、試合	
		○保健 健康な生活と病気の予防	1. 健康を左右するもの 2. 運動と健康 3. 食事と健康 4. 休養・睡眠と健康 5. 生活習慣病とその予防 6. 喫煙と健康 7. 飲酒と健康 8. 薬物乱用と健康 ※随時実施	

2	9	○水泳 平泳ぎ 背泳ぎ	二年次の復習 キック、ストローク、呼吸、コンビネーション	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験 期末試験
	10	○ダンス（ソーラン 節）※全員必修	課題となる動きの習得、オリジナルパートの創作	
	11	【1種目選択制】 ○陸上競技	※陸上競技、機械体操、ダンス（創作）は1種目選択となる。	
	12	ハードル	ハードリングドリル、ハードリング、助走、記録会	
		○器械体操 マット、跳び箱	前転、後転（開脚、伸膝）、倒立前転、側方倒立回転 開脚とび、閉脚とび、台上前転、発展技、発表会	
		○ダンス 創作ダンス	イメージ創作、モチーフ作り、グループ創作、発表会	
		○球技Ⅱ（選択制） バスケットボール ハンドボール フットサル	パス、シュート、ドリブル、簡易ゲーム、試合 パス、シュート、ドリブル、簡易ゲーム、試合 パス、シュート、ドリブル、簡易ゲーム、試合	
	○保健 健康な生活と病気の 予防	9. 感染症と病原体 10. 感染症の予防 11. 性感染症の予防 12. エイズの予防 13. 医薬品の正しい使い方 14. 医療・保健機関とその利用 15. 個人の健康を守る社会の取り組み ※随時実施		
3	1	○陸上競技 長距離走	グラント周回コース 記録測定 マラソン大会	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験 学年試験
	2	○武道（選択制）	2年次の復習（礼法、足さばき、素振り、空間打突（応用）、	
	3	剣道	竹刀で受ける打ち込み、防具の着脱） 防具をつけての打突と受け方（基本打突） 約束稽古	
		柔道	2年次の復習（礼法、受け身、寝技、体さばき等） 受け身、足技、腰技、手技 約束乱取	
	○体育理論 文化としてのスポ ーツ	1. 生活を豊かにするスポーツ 2. 国際的スポーツ大会の役割 3. 人びとを結ぶスポーツ ※随時実施		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	英語	6	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『NEW TREASURE ENGLISH SERIES STAGE2』(Z会), 『Sunshine English Course 3』(開隆堂)	『NEW TREASURE ENGLISH SERIES STAGE 2 文法問題集・準拠CD』(Z会), 『NEW TREASURE ENGLISH SERIES STAGE 2 CDs for Students』(Z会), 『新ユメタン0』(アルク), 『キクジユク 中学英熟語』(アルク), 『ソクトレ 150』(アルク), 『Joy Reader 1』(数研出版), 『Sirius 21 まとめと完成』(育伸社), 『Listening Laboratory Basic α』(数研出版)

### 1. 学習の目標

NEW TREASURE を活用し、4技能(読む、聞く、書く、話す)を総合的に養う。「ユメタン」「キクジユク」を使用して、語彙力の充実を図る。「NEW TREASURE 文法問題集」「Sirius 21」などを利用し、中学英文法の総復習をする。「ソクトレ」「Joy Reader」を使用して、読解力を養う。「Listening Laboratory」を使って、リスニング力を養う。

### 2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

### 3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	NEW TREASURE L.10 関係代名詞 Sirius 第2部	ものや人の特徴や様子を説明して名詞を限定できる。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	L.11 不定詞の発展的用法	不定詞を用いたさまざまな表現を使える。	
	6	L.12 比較/間接疑問/付加疑問/感嘆文	相手に確認したり、驚きを伝えたりできる。	
2	7	3年間の復習 Joy Reader 5～8 ソクトレ	3年間の復習 精読 速読	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	9	Sirius 第2部 Joy Reader 9～11 ソクトレ	実践問題演習 精読 速読	

3	10	ソクトレ Listening Laboratory 1～5	速読 リスニング力養成	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	11	Joy Reader12～15 ソクトレ	精読 速読	
	12	Listening Laboratory 6～10	リスニング力養成	
	1	入試対策 Listening	入試形式の問題演習 リスニング力養成	
	2	Laboratory		
3	11～20			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

※ ユメタン、キクジュクを使用し小テストを実施する。

教科名	科目名	単位数	年・組
技術・家庭	家庭分野	1	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して』(東京書籍)	なし

1. 学習の目標

自分の成長の道筋を振り返り、家族一人ひとりの生活や役割は、家族の構成により変化するということを学ばせ、その変遷をライフステージとともに理解する。家庭生活と消費では、現代社会に氾濫している多くの商品から、本当に必要な物、良い商品を選択できるようにする。また、消費生活の中で起こるトラブルについて学ばせ、その対処の方法を理解する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
自分の生活について関心を持ち、充実・向上を目指し主体的に取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。	さまざまな分野で課題を見いだしてその解決を目指し自分なりに工夫し、創造している。	生活や技術に関する知識・技能を身につけ生活を充実・向上するために主体的に実践しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	幼児の生活と家族	幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。	授業への取り組み 小テスト 期末試験 提出物 出席状況
	5	幼児の体の発達	幼児の発達の個人差、運動機能、生理的機能について理解する。	
	6	幼児の心の発達	情緒・社会性・言葉などのような流れで発達していくのかを理解する。	
	7	幼児の生活習慣の習得	基本的な生活習慣、社会的な生活習慣を支える家族の役割について理解する。	
2	9	幼児の生活と遊び	1日の生活を振り返り、幼児の観察や遊びの道具の製作などを通して遊びの意義について理解する。	授業への取り組み 小テスト 期末試験 提出物 出席状況
	10	幼児のかかわり方 家族・家庭と地域	幼児と触れ合うなどの活動を通して関心を深める。 自分の成長と家族や家庭との関わりについて考える。	
	11	家族と家族関係	家庭や家族の基本的な機能について知り、家庭や家族の大切さについて考える。	
	12	私たちの消費生活	自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費生活を知る。	
3	1	商品の選択と購入	商品購入時に活用できるように、表示や各種のマーク、様々な販売方法、支払方法などを学び、消費生活の中で起こるトラブルやその対処の方法を理解する。	授業への取り組み 小テスト 学年末試験 提出物 出席状況
	2	環境に配慮した生活	大量生産、消費を見直し環境や資源を守る方法を考える。	
	3	消費者の権利と責任	消費者の権利と責任について理解する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
道徳	道徳	1	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『中学道徳 きみがいちばんひかるとき』(光村図書出版)	なし

1. 学習の目標

よりよい生き方を探り、人間としての生き方を考える視点で自分の学びを確認するとともに、現実の中で迷ったとき、今までに何を学んできたかを考察する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
自分の意見を冷静に、秩序立てて表明できている。	他人の意見を尊重し、多角的に物事を見て判断する姿勢が身についている。	自ら積極的に考える姿勢を持っている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	礼儀正しさとは	礼儀の意味を考え周囲の人々との関わりを考えている。	授業への取り組み 提出物 行動観察 ポートフォリオへの入力  観点別評価は行わない。
	5	背番号10 二通の手紙	自分を取り巻く人々とは、どのように関わりを考えている。	
	6	あの日 生まれた命 小さな出来事	規則は、何のためにあるのか考えている。 命を大切にすると、どういうことを考えている。 人に対して公平に接することを考えている。	
	7	「リクエスト食」を支える 鉄腕アトムを作りたい がんばれ おまえ	働くことの意味について考えている。 真理を探求する心について考えている。 「自分」を見つめ、自己の内面について考えている。	
2	9	私がピンク色のキャップをかぶるわけ アイツとオレ 一票を投じることの意味	「友達」とは、どんな関係の相手を指すのか、考えている。 人とわかり合うことは、なぜ必要なのか、考えている。 よりよい社会の実現について考えている。	授業への取り組み 提出物 行動観察 ポートフォリオへの入力  観点別評価は行わない。
	10	ぼくの物語 あなたの物語	社会に存在する差別や偏見について考えている。	
	11	足袋の季節 家族って？ 家庭って？ 海とストロー	人がもつ弱さを見つめそれを乗り越える力を考えている。 家族とはどういうものかについて考えている。 自然を大切にするとはどういうことか考えている。	
	12	好いとっちゃん、博多	郷土を愛する心について考えている。	
3	1	恩讐の彼方に 巣立ちの歌が聞こえる	「寛容の心」とはなにか、自己の体験を振り返りつつ考えている。 よい校風を作り、それを継承していく大切さを考えている。	授業への取り組み 提出物 行動観察 ポートフォリオへの入力
	2	先人の言葉「論語」	生き方について先人の言葉を通じて自己を見つめ考えている。	

	3	命と向き合う 「サッカー」と「働く こと」 手品師	命の尊さについてこれまでの生き方を踏まえて考えている。 「働く」とはどういうことか考えている。  「誠実」とはどういうことか考えている。	観点別評価は行わない。
--	---	------------------------------------	---	-------------

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な学習の時間		2 (70時間)	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
なし	なし

1. 学習の目標

積極的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解している。	実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	国際理解教育 (35時間)	クラスを2つに分け、英語圏のネイティブ教員と日本人教員によるティームティーチングを行う。	
	5		これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	
	6			
	7			
2	9	平和教育 (修学旅行関連 : 35時間)	平和や伝統文化について学習し、集団の中での立場や責任を学ぶことを目的として、京都・奈良・広島を4泊5日で巡る。	
	10		1. 事前学習 ① レポートの作成 「戦争と平和について」「世界遺産について」のレポートを作成し、修学旅行にむけての意識を高める。	
			② DVD鑑賞 見学地の歴史的背景に関するDVDを鑑賞し、知識を深める。	
			2. 実行委員の発足 ① 目標や規則など、よりよい修学旅行になるよう、自分たちで考え、行動できるようにする。	
11	3. 修学旅行の実施、班別自主行動 ① マナーを守る、集団生活における協調性重んじ、自分の役割を果たすことができるようにする。 ② 班員で協力し、計画通りに行動することができるようにする。			
12	4. 事後学習 ① 修学旅行新聞の作成			
3	1			
	2			
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。